

地域が主体となるクラブ活動(特別活動) ～コミュニティ・スクールの一環として～

＜昨年度のクラブ活動の状況＞

- ・クラブ活動の対象は、4・5・6年生
- ・教員が指導者
- ・昨年度のクラブ活動は8種類
(球技、卓球、バドミントン、調理、工作、ゲーム、イラスト、パソコン)

(課題)

- ・教員のみでの指導では種類が限られる
- ・もっと児童にいろいろな活動に取り組ませたい
- ・専門ではない活動は準備等の負担となる

地域の方からのサポートを得られないか

学校運営協議会と連携した取組へ

- 学校運営協議会会長が講師の人材探し・依頼
- 講師はすべて地域の方
- コミュニティ・スクールの取組の一環として実施

＜今年度のクラブ活動＞(4・5・6年生)

(テーマ) 「みんなが一緒に楽しむ」

(活動内容)

- | | | |
|---------|---------|-------|
| ①絵手紙 | ②手編み | ③けん玉 |
| ④テニピン | ⑤ダンス | ⑥茶道 |
| ⑦詩吟 | ⑧まちなか探検 | ⑨口演 |
| ⑩SPACE | ⑪合唱 | ⑫絵本 |
| ⑬世界を知ろう | ⑭つくり隊 | ⑮みつけ隊 |

＜地域の方が主体となるクラブ活動の利点＞

- クラブ活動の種類が増える
- 児童が新たなことに取り組むことで、得意なことを発見したり、できたという達成感を味わったりし、自己肯定感が高まる
- 興味・関心を高め、キャリア教育につながる
- 児童が地域の方と接する機会が増える
- 学校と地域の関係が深まる
- 教師の負担が減り、働き方改革につながる

効果

- 地域人材を活用することで、地域との連携を推進することができる
- 地域の方によるクラブ活動を教育課程に位置づけることで、「社会に開かれた教育課程」の実現につながる
- 人材発掘・依頼・実施を地域の方が担うことで、教職員の働き方改革につながる

「地域とともにある学校」づくりの推進

＜クラブ活動の様子・感想＞

【口演クラブ児童の感想】

最後のクラブ活動で、これまで練習してきた小話を本格的な場所を作ってやりました。最初は笑わせられるか心配だったけど、最初の時よりもうまくなったと思うのでよかったです。短い間だったけど、これまでで一番楽しいクラブ活動になりました。



口演クラブ

【つくり隊クラブ講師の感想】

それぞれやりたいことをまとめるのが大変でしたが、子どもたちなりに話し合い、想いを大切にしている姿が見えました。4日しかないと思いつつ、自由に作る子どもたちのパワーを感じ、集中する姿に元気をもらいました。最後まで思い思いに作れて、担当の先生にもアイデアを頂き、大人も子どもも楽しめたと思います。



茶道クラブ

【茶道クラブ講師の感想】

はじめはどうかと思いましたが、子どもたちが真剣に話を聴いたり、だんだん慣れたりしてきて、思うように指導ができました。最後、みなさんの感想を聴いて涙が出ました。



つくり隊クラブ

【三重第一小学校の先生からの感想】(抜粋)

【まちなか探検クラブ担当教員の感想】

三重町(特に市場付近)の歴史について知り、子どもと一緒に楽しむことができました。講師の方のおかげで、職員の方のみでは学ぶことのできないことまで教えてくださったり、地域の方々と繋がりが持てたり、貴重な時間を過ごすこともできました。以上のことから、今後も地域の方と交流できるこのクラブ活動を継続していかねばと感じました。

【手編みクラブ担当教員】

手編みをした記憶がなく、講師の先生方に優しく教えてもらい貴重な体験をさせて頂きました。指導の立場を少し離れ、子ども目線、子どもの立場で一緒にクラブを楽しむことができました。次年度以降も無理なく楽しめて持続可能なものにするため、今年度の実践を、クラブ担当として組織的なものにしていきます。大変ありがとうございました。